

数値地質図 G-13

東・東南アジア地質災害デジタルマップ "GeoHazardView"

発行年：2004

この CD-ROM には、東・東南アジア地域で過去に起こった、火山・地震・津波・地すべりなどの地質災害がデータベースとして保存され、そのデータをコンピューター上で、分かりやすく表示するソフトウェア"GeoHazardView"が組込まれています。

ここに納められた地質災害のデータは、1994年から1998年まで実施した「東アジア自然災害マッピングプロジェクト」を通じて、アジア各国の地質調査関連機関とその代表によって収集されました。収集されたデータを標準フォーマットで整理し、表示ソフトを加えて作成したのが、この「東・東南アジア地質災害デジタルマップ」です。

「東アジア自然災害マッピングプロジェクト」は、1992年に京都で開催された第29回国際地質会議(IGC)で、日本が提案した自然災害マッピングおよび関連する環境問題に対応する国際科学プログラムを具体化したもので、国連による国際防災の10年(IDNDR)や東・東南アジア地球科学計画調整委員会(CCOP)、世界地質図委員会(CGMW)の支持を受け、実施されました。プロジェクトの主な目的は、1) 国や地方レベルの担当者や一般市民の間での自然災害に対する意識を高める 2) 地質災害の科学的研究の促進 3) 国際協調の下で発展途上国への災害マッピング技術の移転 4) IDNDR への貢献 でした。

アジア諸国は複雑で活発な自然環境と災害に脆弱な社会状況により、様々な自然災害による被害をうけやすい状態にあります。特に開発途上国においては自然災害がもたらす人々への影響は非常に深刻で、1965年から1992年までの災害による犠牲者の合計の90%以上がアジア・アフリカ地域におけるものであったとされています。近年、この地域の国々の社会経済の著しい進展がアジアでの自然災害による損害の拡大につながっています。これらの被害を軽減するためには、過去に起こった自然災害について学習し、災害予測を充実させていく事が重要です。今回出版した東・東南アジア地質災害デジタルマップは、日本を含むアジアの多くの方々に利用していただける非常に有益な情報になると期待しています。

なお、本 CD-ROM の英語版は、数値地質図 11 として出版済みです。また紙版の地質災害図も **Eastern Asia Geological Hazards Map 1:7,700,000** として出版されています。これらも是非御利用ください。

ソフトウェアについて

GeoHazardView ソフトウェアは、産業技術総合研究所 地質調査総合センターの Joel C. Bandibas が開発を行いました。このソフトウェアは東アジアの空間情報と空間地質災害データベースの管理と取扱いを行う、インタラクティブなプログラムとなっています。

GeoHazardView は地質情報システム(GIS)とは異なるユーザーインターフェースであり、地質学について特別な知識を持たない人でも簡単に利用することができます。火山の位置、過去の主要な噴火と死傷者の数、地震災害の発生日時、発生頻度、震央の位置、マグニチュード、震源、被害状況、死傷者のような災害に関する特定の情報がクリックするだけの簡単な操作で分かります。年代ごとの火山噴火や地震の発生状況も連続して表示する事ができます。さらに、ユーザーは火山写真、衛星写真等を見ることができます。このシステムは学校での科学の授業の生徒から土地利用計画の実務担当者等の幅広いユーザーにとって良い資料となります。

The GeoHazardView が他の GIS 関連のソフトウェアと異なる特徴は、以下の通りです。

1. 火山、地震、津波と地すべりを含む地質災害データベースに限定して扱っています。
2. 火山噴火中の火山灰の分布のような災害現象のシミュレーションをすることができます。
3. 過去 2000 年の間の火山噴火やその場所を年毎に自動的に表示できます。
4. 過去 2000 年の間の地震とその震源地を年毎に自動的に表示できます。
5. このシステムは地質災害図を見ることの他にユーザーに身近な地質災害データベース管理システムを供給します。
6. 地質災害の発生頻度、死傷者数、地域への影響、マグニチュード等の有力な情報や震源の深さが簡単に分かります。
7. 写真や火山の衛星イメージのような関連情報とリンクしています。

このソフトウェアは Visual C++ プログラミング言語で書かれ、マイクロソフトウィンドウズ操作で使うことができます。これは独自のデータベースを扱っていますが、テキストやマイクロソフトエクセルのようなその他共通フォーマットからの情報もアクセスできます。常に地球上で新たに起こりうる地質災害に対応できるよう、このシステムは簡単にデータベースを編集更新することができます。

推奨動作環境

OS Windows98, Me, 2000, XP

※Macintosh では動作しません

処理スピード 400 Mhz 以上

RAM 150 MB 以上

16 万色以上, 1024 x 768 ・ ビンクセルディスプレイ

500 MB 以上の空き容量

ソフトウェアのインストール

1. この CD-ROM を CD ドライブに挿入してください。
2. CD を挿入後, "Setup.exe" を開いてインストールを開始してください。
インストールを行う際は, 起動しているプログラムを全て終了してください。
3. インストールが正常に終了するとデスクトップ, Windows のスタートメニューに GeoHazardView のショートカットが表示されます。

ソフトウェアのアンインストール

1. Windows スタートメニュー GeoHazardView の Uninstall をクリックしてください。
2. Uninstall アイコンがデスクトップ上に表示されますので, そこをクリックしてアンインストールを実行してください。
3. 正常終了後にデスクトップに GeoHazardView 及びそのアンインストールアイコンが残っている場合は, それらを削除してください。